

2. 拾ってあげる

え？！やだ、ちょっと…君、大丈夫？

…うわっ、すごい熱！

その割に汗が出てない…、熱中症？！

待ってて、すぐに救急車呼ぶから！

…あ、気が付いた？

まだ起き上がらない方がいいわよ。

君、熱中症で倒れて結構重症みたいだから。

荷物、勝手に漁らせてもらったけど、身分証も見つからなくて。

保険証があったら出してほしいって言われたけど、どこにあるかわかる？

…え、無いの？どういうこと？

……勤めていた会社が倒産して、これから国民健康保険の申請をしに行くところだった？

今無職で…、寮だったから住むところも無い？

…あ、ちょっと！まだ起き上がりちゃだめだってば！

……給料も数か月払われてないから、貯金も底をついて、病院の費用も出せない？

もう、いいわ。乗り掛かった舟だから、おねーさんに任せなさい！

こう見えて、貯金は結構あるんだから。

え、私？…私は司。

仕事？大丈夫、もう今日のアポは終わってるの。

だから、時間は何とでもなるわ。

フフッ…、そんな、この世の不幸いっぺんに背負ったみたいな顔見たら…放つておけないよ。

そんなに気になるなら、出世返しでいいよ。

私が君に投資したって思ってくれたら、いいかな。

だって、見てみたいじゃない。

こんな状態から、どうやって這い上がるのか。

……うん、S だって結構言われる。

そのくらいじゃなきゃ、営業なんてやってられないもの。

これでいて結構営業成績いいんだから！

…そんな感じ、する？

お世辞はいいよー。

…お世辞じゃないの？

デキる女に見えるって？

フフッ、ありがと。

話し方やしぐさでわかるの？

そつか…、君も営業やってたんだ。

私ね、自分の容姿があんまり好きじゃないの。

どんなに頑張っても、見た目がいいからだって言われることが多くてね？

ぜいたくな悩みだって言われるけど、私はこの顔で生まれたい！って言ったわけじゃないから。

そこよりも、私の本質とか、努力とか、そういうところを見てほしいのに……。

ごめんね、会ったばかりの君にこんな話しちゃって。

……点滴が終わって、症状が良くなったら帰ってもいいって言ってたけど、行く当てはあるの？

お金は私が立て替えるから、心配しないで！

……やっぱり、行く当てないんだ。

それじゃあ…、私の家に来る？

実はね、同棲してた彼と別れて…、彼が使ってた部屋が空いてるの。

だから、住むところが見つかるまで、自由に使っていいわよ。

……ここまで言わせておいて、断るつもり？

女の子に恥はかかせないの！

それじゃあ、看護師さん呼んでくるから！

君はゆっくり横になっててね。

元彼が三股をかけていたことを知って、すぐにマンションを追い出した。

悲しいっていうより呆れた。

私が一方的に好きだったこと也有って、私のマンションにあった彼の服や生活雑貨は全部私が買ったもの。

だから、捨てようと思ってた。

そんな矢先に君と出会った。

着の身着のままで放り出された君のために、用意してたような部屋。

元彼の面影を消したくて、君を呼び寄せたのかなあ…。

君はこの部屋を自由に使っていいわ。

部屋にあるものはみんな、捨てようと思ってたものだから、遠慮なく使って。

トイレはその正面で、隣がバスルーム。
私の部屋を訪ねる時は、必ずノックすること！
この家に住むためのルールはそれだけ。
……家賃とかは取らないから、安心して。
そうだなあ、女の一人酒は寂しいから、晩酌に付き合ってくれたら申し分ないかな！

ぐび…ぐび…ぐび…

はあ～～っ！

(酔って呂律が回らない感じで※文章は分かりづらくなるためいじらないので、お芝居中にら行などを多用してください)
それでねえ～、ねえ～、君、聞いてるう～？

やっぱりさあ～、一緒にお酒飲んだ方が良かったんじゃないのお～？

……アハハハハ！ そうだった、熱中症で倒れたばっかだっけえ～？

さすがにそんなんでビールはダメかあ～…。

ちょっとぐらいなら…

……そつか一、お酒、弱いんだあ。

頭痛くなっちゃう系？

なら楽しいお酒じゃないねえ。

わたしはあ～…、嫌なことがあると酔っちゃう系～。

君が嫌なんじゃないのお～！

元彼がね！ 嫌なやつだったのお～！

何股かけてたと思う？

…三股だよお～？

私のほかに、モデルとお～、CA と付き合って～、
私が一番家にいるから、私の家に転がり込んでたんだって！
信じられないでしょお～？！

私ね、自慢じゃないけど、モテるんだよ？

顔は良い方だって言われるしい～、おっぱいだって、小さくはないと思うんだあ～。

何が足りないのって聞いたらね～、スリル、だってさ！

平凡な営業女じゃつまらないんだって～！

そりや、モデルと CA に比べたら、つまんないわよ？

…そりやわかるけどさあ～、私だって毎日必死に働いて…がんばってるんだよお～？

新しい商談まとめたら、顔で仕事とったとか、枕営業じゃないかとか言われてさあ～…

私が何したっていうの？

私だって、すごい努力してるんだよお～？

ねえ、わかる？

誰よりも商品のこと勉強して…、プレゼン資料だって細かく作ってさあ～…

それを、顔だけで片づけられる私の気持ち、わかる？！

……やだあ～、お酒がなくなっちゃったあ～。

いっぱい買ってきてたのにい～。

……買ってくる。

だ～いじょうぶだって！全然まっすぐ歩け…

いったあ～！だいじょうぶー？ごめんねえ、下敷きにして…
へへへ…なんか、私が押し倒したみたいだねえ～。
みんなさあ～、こうやって仕事とってきてるって、思ってるんだろうなあ～。
見たことあるのかっ！つづーの。
わたしがあ～…こうしてえ～…色仕掛け使ってえ～…仕事とるならあ～…

ん一…ちゅくっ…んちゅちゅ…もっと…成績いいってばあ～…ちゅつ…ちゅつ…
私ねえ…今まで付き合ってきた人にい～…
司のキスは、一番気持ちいいって…ちゅぷっ…んちゅ…ちゅ…
いわれるんだよ～？ちゅぷ…ちゅ…ちゅつ、ちゅつ…
気持ち…いいでしょお？
……フフッ、君、…耳まで、真っ赤…ちゅつ…

お風呂入ってないから…ちゅぷっ…じゅぷぷ…臭いだろうって？
…私、匂いフェチなんだあ～…
ちょっと臭いくらいが…興奮しちゃう…じゅぷっ…ちゅつ…ちゅつ…
あれえ～？女の子に…耳、舐められたことないのお～？
ちゅぷっ…ちゅ、ちゅつ…耳の穴も…舌で…れろ～って…
この、こりついた…耳のふちのところを…つうーってなぞつたり…
唇で、はむって…挟んでえ～…
ちゅぷ…ちゅぷっ…ちゅぷ…ちゅぷっ…
こうして丁寧に舐めてえ～…

ふう～……

今、ひやあって言ったあ～…アハハハハ…

どれどれえ、おねえさんがあ～、逆の耳も…

じゅふ~ふふふふ…ちゅふ~ふ…こっちの方が弱い～？

もう肩が上がって…、くすぐったそう…ちゅふ~ふ…

ちゅふ…ちゅふ…ちゅ、ちゅつ…

舌の先を固くして…なぞってえ～…じゅふ~ふふふ…

甘噛みしても気持ちいいんだよ？はむっ…んちゅつ…

…もう、全身真っ赤だよお～？

…だからあ、臭いなんて気にしてないっていうかあ～…

汗臭いのって、なんか…ドキドキしない？

私も今、お酒臭いと思うし…ふふつ…

ちゅふつ…ちゅ…、ちゅつ…

…私は、ドキドキ…してるよ？

聞いてごらん？ほら……

聞こえる？心臓の音…

どくんどくんって…

……それよりも、おっぱいが気になって、自分の心臓の音がうるさい？

君、女の子のおっぱい…あんまり触ったことないの？

……か～わいい。

もう、元カレなんてさ…私のおっぱいとか、あんまり興味なくってさ～…

少し揉むだけで、すぐに挿れたがるんだよ～？

それもさあ…全然濡れる前にいきなり挿れてきたりしてさあ～…

そんな奴なのに…別れる前まで、ずっと好きだったなあ…

何処がそんなに好きだったんだろう…

私が三股のこと聞いた途端、逆ギレしてさあ～…

私にひどいこと言って、出て行ったんだあ～…

私が一年で一番一人になりたくない日が今日だって…知ってるはずなのに…

今日まで待ってって、いったのに…

私、今日だけは一人になりたくなかつたんだ…

ねえ、君は…私をこのまま一人に…しないよね？

んちゅ…ちゅつ…ちゅぷつ…ちゅつ……んつ…

今日だけは一緒に寝て欲しい。